

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 22日

事業所名 放課後等デイサービス翠(みどり)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容に応じて、スペースを工夫しながら行っています。	視覚を遮断できるような改善を行っています。音の遮断が難しいため、静の活動時は、配慮が必要です。
	2	職員の配置数は適切である	○		保育士・児童指導員を適切に配置しています。	適切に職員を配置していますが、今後は必要性に応じ専門性の高い職種の評価を検討します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車椅子の使用ができています。トイレには手すりが設置しています。	福祉車両は2台あり、デイの中でも車椅子での利用も可能となっています。今後、環境で課題が出た際に対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、利用者ミーティングを行い、支援を行っています。	日々の支援を振り返り、利用者・スタッフの良かった点、改善点の話し合いを行い、質の高い支援ができるように努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		実施しています。	開設後初めてのアンケート調査です。アンケート内容を検討し、今後の支援や事業所運営を行っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		実施しています。	HPIにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	実施しています。	今後、外部評価は検討します。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的を実施しています。	研修会や学会(ZOOMも含め)に定期的に参加しています。支援で気になったことは、適宜文献を読み質の向上を目指しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		ニーズを重視しながらサービス計画を作成しています。	ニーズに対して、心身機能面・活動面・環境面等を評価し、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所のアセスメントツールを使用しています。	契約時にアセスメントを作成し、支援計画の立案に役立てています。今後は、定期的にあセスメントを行っていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日、ミーティングを行い日や月の計画を立案しています。	専門職種が意見を出し合いながら、活動のプログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日や利用者等、プログラムが固定化されないように注意しています。	発達レベルに合わせながら、固定化されないようなプログラムを作成し、提供しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日の際は、平日に行い難い支援を提供しています。	休日は、昼食がある為、実際の食事場面で食事動作練習を行うなど、休日しかできない支援を提供している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		必要に応じて、個別活動と集団活動を行っています。	目標に向けて、個別活動と集団活動を使い分けています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、ミーティングを行っています。	学校の日は、毎朝ミーティングを行い、学校の休みの日は、朝もしくは前日にミーティングを行い、支援の流れや役割を決定しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後には、振り返りを行っています。	支援終了後に振り返りを行い、良かった点や改善した方がよい点を話合っています。話し合ったことは、書面に残しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録は毎日とっています。	毎日ミーティングを行い、スタッフで支援に対して検証し、記録を作成しています。今後は適切に記録を行います。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		適切にモニタリングを行い、計画の変更を行っています。	スタッフ間でミーティングを行い、個別計画の目標や支援内容を随時話しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		複数の支援を組み合わせを行っています。	個別計画に合わせながら、生活動作・運動・認知・社会性等のスキルが向上するような活動を取り入れ支援を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が担当者会議に出席しています。	担当者会議は、児童発達支援管理責任者が参加し、適切な情報を発言しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校と密に情報共有し、より良い支援を目指しています。	学校等とは、送迎時・担当者会議・電話等で常に情報共有を行っています。今後も適切に情報共有を行います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケア時を受けいていませんが、今後受け入れる事があれば、主治医等との連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報共有を行うように努めています。	訪問看護・児童発達支援事業所・病院などと現在の状態や今までの経過の情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		学校を卒業したご利用者が居ません。今後、卒業する利用者が居る場合は、情報を提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関と連携に努めています。	その都度、専門機関と連携し助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		障がいのない子どもと活動する機会を作っています。	児童館や地域の公園での活動を行い、障がいのない子どもと活動に努めています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		地域実支援協議会等への参加に努めます。	地域自立支援協議会等の開催の際は、積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時・連絡帳・電話・SNS等で課題に対して共通理解を持っています。	適宜、ご家族と話し合い、課題や上手くいった事の情報共有を行い、適切な支援を行っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		送迎時・連絡帳・電話・SNS等にて行っています。	ご相談があった際は、送迎時・連絡帳・電話・SNS等にて適切に助言しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学や契約時に行っています。	見学や契約時に、丁寧に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時・連絡帳・電話・SNSにて助言を行っています。	子育ての悩み等の相談があった場合は、送迎時・連絡帳・電話・SNSにて行っていますが、できるだけ、直接お会いして話をするようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母会は行っておりません。	コロナ渦やニーズもあり行っておりませんが、ニーズがある際は検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		何かあれば迅速に対応するようにしています。	苦情等があれば、電話等で対応できるようにし、迅速に解決できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSにて発信しております。	活動状況等はSNSにて発信しています。今後も、より良い情報を発信します。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報は十分に注意しています。	個人情報は十分に注意し、情報や写真の掲載には同意書をとっています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		伝わりやすいように配慮しています。	視覚情報を使用したりと、情報理解が行いやすい方法にてコミュニケーションを行っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	実施できません。	コロナ渦もあり行えていませんが、今後検討していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルやBCPの作成を行っています。	保護者に周知徹底できていないマニュアルもありますので、契約時には必ず行うようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		災害に備えた話し合いや訓練を行っています。	水消火訓練や通報訓練を実施しています。今後は、防災センターへの見学を検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待の研修会は行っています。	虐待の研修会に参加や話し合いを行い、虐待に対する知識や虐待防止を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	身体拘束を行う利用者様を受け入れたことがありません。	身体拘束を行う利用者様が居ませんが、身体拘束が必要となる場合は、説明と同意をとった上で、個別支援計画書に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	医師の指示では行っていません。	医師の指示ではなく、ご家族の情報を基に対応しています。アレルギーの情報収集は確実にを行い、食事やおやつ時に注意しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミーティングの中で情報共有しております。	ミーティングの中で情報共有しています。また、法人内に安全管理委員会がありますので、会議に参加しています。